



JAPAN COFFEE IN GOOD SPIRITS CHAMPIONSHIP 2026
OFFICIAL RULES & REGULATIONS

based on
WORLD COFFEE IN GOOD SPIRITS CHAMPIONSHIP 2025
RULES & REGULATIONS



ジャパンコーヒーイングッドスピリッツチャンピオンシップ ルール規約
SCAJ バ리스タ委員会

TABLE OF CONTENTS (目次)

1. 参加条件	5
1.1 組織	5
1.2 権利	5
1.3 参加資格	5
1.3.1 コンペティションボディ(CB=競技団体)の資格要件	5
1.3.2 CBチャンピオンおよび代表代理選手	5
1.3.3 年齢要件	6
1.3.4 国籍	6
1.3.5 複数のパスポート	6
1.3.6 費用	6
1.4 コンフリクト(利益相反)	6
1.4.1 審査	6
1.4.2 キャリブレーションバリスタ	7
1.4.3 その他のコンフリクト	7
1.5 ルール&レギュレーションの施行	7
1.5.1 安全衛生条項	8
1.6 申し込み	8
1.6.1 競技者登録フォーム	8
1.6.2 競技団体大会が直前に行われた場合の登録	8
1.6.3 競技者からの質問	8
1.6.4 規約	8
2. 競技会	9
2.1 概要	9
2.3 ステージプレゼンテーション	9
2.3.1 予選ラウンド	9
2.3.2 決勝ラウンド	10
2.4 飲料の定義	10
2.4.1 コーヒーとアルコールベースのデザイナーードリンク	11
2.4.2 アイリッシュコーヒー	11
3. 競技の手順	11
3.1 競技ステージエリア	11
4. 機器、アクセサリ類、および原材料	12
4.1 エスプレッソマシン	12
4.1.1 液体や材料をマシン上へ置かない	12
4.1.2 失格事項	12
4.2 グライNDER	12
4.3 提供される機器と備品	12
4.4 推奨される機器と備品	13
4.5 追加の電気機器	13
4.5.1 その他の電気機器	13
4.6 スポンサー提供のアルコール	13
4.7 アイリッシュコーヒーグラス	14
5. 競技者が準備時間の前にすべきこと	14
5.1 競技者オリエンテーションミーティング	14
5.2 準備/練習用ルーム	14
5.2.1 練習時間	14
5.3 競技中の音楽	15
5.3.1 予選ラウンド	15

5.3.2 決勝ラウンド	15
5.4 時間厳守	15
5.5 ステーションのセットアップ	15
5.5.1 グライNDERおよび追加の電気機器のセットアップ	15
5.6 サポーター/アシスタントのステージ立ち入り禁止	15
6. 準備時間	16
6.1 準備時間の開始	16
6.2 カート	16
6.3 ジャッジ用プレゼンテーションテーブル	16
6.4 試し抽出	16
6.5 カップを事前に温めておく	16
6.6 準備時間の終了	16
7. 競技時間	17
7.1 司会者による紹介	17
7.2 競技時間の開始	17
7.3 提供することが求められているドリンク	17
7.4 ボランティアスタッフが提供されたドリンクを下げることにについて	17
7.5 作業エリアの区画	17
7.6 競技時間の終了	18
7.7 競技時間終了後のコミュニケーション	18
7.8 時間超過によるペナルティ	18
7.9 コーチング	18
8. 技術的な問題	19
8.1 妨害について	19
8.2 アクセサリーを忘れたら	19
9. 片付け	20
10. 競技終了後	20
10.1 得点管理	20
10.1.1 オフィシャルスコアキーパー	20
10.1.2 競技者の総合得点	20
10.1.3 同点の場合の処理	20
10.2 デブリーフィング	20
11. 審査基準	21
11.1 競技エリア	21
11.2 テイスト評価	21
11.3 飲料のプレゼンテーション	21
11.4 テクニカルスキル	21
11.5 パフォーマンス	21
12. 評価スケール	21
13. テクニカル/ビジュアル評価方法	22
13.1 予選 — テクニカル/ビジュアル評価	22
13.1.1 外観の創造性	22
13.1.2 総合的外観の魅力的アピール	22
13.1.3 プレゼンテーションの総合評価	22
13.1.4 コーヒー抽出のプロフェッショナルさ	22
13.1.5 スピリッツ準備のプロフェッショナルさ	23
13.1.6 副材料のプロフェッショナルな使用方法	23
13.1.7 プロフェッショナルなパフォーマンス	23
13.1.8 清潔で整頓されたワークスペースか	24
13.1.9 プレゼンテーションを通して衛生的か	24
13.2 決勝 — テクニカル/ビジュアル評価	24
13.2.1 明確な色の区別	24
13.2.2 表面の外観	24
15. テイスト評価方法	25

15.1 予選 — テイスト評価	25
15.1.1 ドリンクの温度の心地よさ(ホット/ウォーム、コールド)	25
15.1.2 ドリンクで味わうコーヒーの質	25
15.1.3 フレーバーのコンビネーションとバランス	25
15.1.4 ドリンクのボディ/マウスフィール	25
15.1.5 創造性(使用した材料/作成手順/プレゼンテーション)	26
15.1.6 ドリンク市場への適用性	26
15.1.7 ドリンクの味わいの総合的な印象	26
15.1.8 プロフェッショナルなパフォーマンス	26
15.2 決勝 — テイスト評価	26
16. World Coffee in Good Spirits における嘆願	27
16.1 World Coffee Championships における審査/採点に関する問題	27
16.2 World Coffee Championships におけるその他の問題	28
16.3 World Coffee Championships における嘆願	28
16.4 WCC 競技戦略委員会(WCC CSC) が審査する嘆願	28
17. CB 主催イベント	29
17.1 CB におけるルールバリエーションについて	29
17.2 CB が開催するイベントにおける嘆願	30
18. 連絡先	30
18.1 SCAJ 事務局	30
18.2 競技会事務局	30

※目次の番号は World Barista Championship の R&R に準拠しています。(一部国内大会仕様)

※国内大会で該当しない世界大会の一部 R&R 項目は削除しています。

1.参加条件

1.1 組織

World Coffee in Good Spirits (WCIGS)は、World Coffee Events, LTD (以下、WCE)が運営するプログラムです。WCE は、Specialty Coffee Association (SCA)の完全子会社です。

日本スペシャルティコーヒー協会(以下、SCAJ)が主催するジャパンコーヒーイングッドスピリッツチャンピオンシップ(以下、JCIG S)は The World Coffee in Good Spirits (WCIGS)の日本代表選考を兼ねて開催され、大会は WCIGS ルール&レギュレーションに準拠して運営されます。

1.2 権利

World Coffee In Good Spirits (WCIGS)に関連するすべての知的財産権(本公式ルール&レギュレーション、大会フォーマットを含む)は、World Coffee Events, LTD に帰属します。本書の内容を無断で使用または複製することは、WCE の明示的な許可がない限り禁止されています。

1.3 参加資格

1.3.1 コンペティションボディ(CB=競技団体)の資格要件

World Coffee In Good Spirits (WCIGS)は、World Coffee Events (WCE)が公認する競技大会で CB チャンピオンの資格を得た者のために開かれる大会です。公認大会は、WCE の許可を受けたコンペティションボディによって開催されます。競技年度ごとに、各 WCE ライセンス競技団体から 1 名ずつ参加することができます。WCE 認可競技団体になるための詳細については worldcoffeeeevents.org/competition-bodies に記載されている競技団体認可基準と規約をご覧ください。

なお、各競技団体の競技会運営に関与しているコーディネーターや個人は、その年の大会には出場できません。ここでの「その年」とは、当該競技団体が大会の準備を開始した時点からを指します。

1.3.2 CBチャンピオンおよび代表代理選手

A. CB チャンピオンは、コンペティションボディの開催する選手権を優勝した競技者と定義されます。この選手は、その年の世界大会で競技する権利を獲得した者、またはその出場権を翌年に繰り延べる権利を取得したものです。競技者は、正当な理由がある場合に限り、出場権を翌年に繰り延べるすることができます(出場権繰り延べポリシー Deferred Candidacy Policy の詳細はこちらを参照してください。

<https://worldcoffeeeevents.org/deferred-candidacy-application-general-contact-submission/>)

B. CB チャンピオンの出場権の繰り延べ申請が正しく行われた(受理された)場合、ナショナルチャンピオンとしてのタイトル(肩書き)を保持し、翌年の世界大会に出場することができます。CB チャンピオンによる繰延の登録が認められたら、ライセンスを受けている競技団体は国内競技会の2位の選手から順番に世界大会に出場する代理競技者を指名することができます。この場合、世界選手権に出場する競技者は国内競技選手権の代表としての「Competition Body Competitor (CB 競技者)」のタイトルを保持します。CB 競技者は翌年への出場権の繰り延べ申請をする資格はなく、「CB チャンピオン」のタイトルを持ちません。しかし、すべての CB 競技者は WCC ワールドコーヒーチャンピオンシップに参加することで自身のコーヒーコミュニティを代表する資格があり、「世界コーヒーチャンピオン」のタイトルを勝ち取る資格もあります。

C. 競技団体チャンピオンが出場権繰り延べの対象ではなく、世界大会への出場を辞退する場合、競技団体は代替競技者を派遣することができます。

- D. 出場権利繰り延べ申請者を除き、いかなる理由であれ世界大会に出場しない CB チャンピオンは、その旨を明快にするために、本人が WCC スタッフ(info@wcc.coffee)宛に通知する必要があります。

出場権利繰り延べ申請者は、詳細を共有する必要はありませんが、代替の競技団体代表選手が十分な準備期間を確保できるよう、出場を繰り延べる意向を WCC チームに通知してください(ただし、義務ではありません)。

代替選手(競技団体代表選手)に関する申請は、競技団体から info@wcc.coffee 宛に書面で提出され、WCC マネージングディレクターの承認を得る必要があります。

1.3.3 年齢要件

JCIGS 競技者は、20 歳以上でなければいけません。

1.3.4 国籍

- A. 競技者は、出場を希望する国の有効なパスポート、もしくは過去 24 か月以上の継続的な居住、就労、または就学を証明できる公的書類の提出が必要とされ、少なくともその期間の一部は、競技団体大会開催の 12 か月以内である必要があります。
- B. 競技者は、WCE 競技年度ごとに 1 つの認定競技団体のみから出場することができます。競技年度とは、世界大会への出場資格を得るためのイベントが対象となる年を指します(例: 競技者が 2020 年の世界大会への出場資格を得るための競技団体イベントに出場する場合、2020 年の WCC 大会の予選となる競技会は、同一の競技団体が開催するものに出場しなければなりません)。

1.3.5 複数のパスポート

複数のパスポートを所持している場合、その出場者は 1 つの競技団体を選択し、そのコンペティションボディの認定チャンピオンシップで出場資格を取得しなければなりません。

1.3.6 費用

認可された競技団体は、合理的な範囲内で代表チャンピオンに対し、世界大会の会場までの往復旅費および滞在費を負担する義務があります。上記以外の一切の費用(例: 食費、保険、超過手荷物費など)は競技者自身の負担となります。WCE はいかなる状況においても競技者の費用負担には責任を負いません。

1.4 コンフリクト(利益相反)

1.4.1 審査

- A. 競技者は、その年の WCIGS イベントが終了するまで、開催国を問わず、WCIGS が認定する世界、国内、及び地区レベルの競技会においてジャッジを務めることはできません。ジャッジもまた、その年の WCIGS イベントが終了するまで、開催国を問わず、WCIGS が認定する世界、国内、及び地区レベルの競技会に競技者として出場することはできません。

- B.** ジャッジは、WCIGS イベントでコーチをしながらジャッジをしてはなりません。登録ジャッジが競技者のコーチとして活動した場合（メインコーチ、サポートコーチ、コンサルタントも含む）、大会前およびキャリブレーション時にその利益相反を申告しなければなりません。利益相反を申告しなかった場合、競技者を失格とすることがあります。ジャッジが、JCIGS の前に何らかの形で競技者を指導したことがある場合は、その旨を申告する必要があります。その競技年（当該する JCIGS の予選が前年にあった場合はその競技も含む）の競技中は、いかなる形であれ、連絡、相談、審査を行うことはできません。大会中に遵守しなかった場合、競技者は失格となり、ジャッジは本大会の審査から外れることになります。
- C.** 競技者は、CB 競技会のジャッジを選出や推薦することはできません。

1.4.2 キャリブレーションバリスト

- A.** JCIGS やその予選大会（競技団体による WCE 公認イベント）において、ジャッジキャリブレーションのためのバリストとして参加した者は、その競技年度内は、いかなる公認大会にも競技者として出場することができません。
- B.** 競技者がその年の選手権に出場しない場合、キャリブレーションバリストとして参加することは可能です。また、自国の競技団体大会で世界大会への出場権を得られなかった競技者であれば、同年の世界大会でキャリブレーションバリストを務めることは可能です。
- C.** 競技年度とは競技者が世界大会の出場資格を得るための競技会に関連します。

正しい例：2021 年の世界大会でキャリブレーションバリストを務めた競技者は、2022 年の WCIGS 出場資格をかけた競技団体大会には出場できます。

誤った例：2021 年にいずれかの国の競技団体大会（自国でなくても）でキャリブレーションバリストを務めた競技者が、同じ 2021 年の WCIGS に出場すること。

1.4.3 その他のコンフリクト

SCAJ バリスト委員会は競技が開始される前には必ず競技者、ジャッジおよびイベント主催者による潜在的なコンフリクトの可能性（潜在的な利益相反）を早期に言明することを推奨します。

JCIGS イベントの開催前までに潜在的なコンフリクトを言明しない場合、競技者個人の失格となる可能性、もしくはこれらのガイドラインに従わない場合は SCAJ バリスト委員会によりそのイベントや競技結果の認可を取り下げる可能性もあります。JCIGS における利益相反に関する質問、または上記方針の不明点については競技会事務局宛（competition@scajconference.jp）に連絡してください。

1.5 ルール&レギュレーションの施行

WCIGS/JCIGS では、競技期間中を通じてこれらの公式ルール&レギュレーションが適用されます。競技者がルール&レギュレーションの 1 つまたは複数に違反した場合、ルールが特定の執行または結果を指定する場合を除き、自動的に競技失格となることがあります。ジャッジまたは競技主催者がこれらの規則の 1 つまたは複数の違反を引き起こした場合、競技者は「WCIGS における不服申し立てと嘆願要請」もしくは「CB 競技における不服申し立てと嘆願要請」セクションに詳述されている手順に従って嘆願要請を提出することができます。

1.5.1 安全衛生条項

全てのルール&レギュレーションは、現地、および会場の、安全衛生上の要件やガイドラインに基づいて変更されることがあります。変更がある場合は競技会の開催前にルール&レギュレーションの変更を電子メールでお知らせします。これらの変更には、テーブルサイズやレイアウトの変更、提供される器具やカップの材質の変更、競技者の準備室や練習室でのコーチやヘルパーの制限、消毒のためのスケジュール変更などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

1.6 申し込み

1.6.1 競技者登録フォーム

競技者は、JCIGS 競技者登録フォームの必要事項をすべて記載の上、協会ホームページより申し込みを行ってください。定められた期間外の登録行為はすべて無効となります。正式登録は参加登録料の入金確認をもって登録完了とします。期日までに入金の確認されなかった場合はキャンセル扱いとします。入金期日は登録フォームの入力確認後、ご案内いたします。

1.6.2 競技団体大会が直前に行われた場合の登録

WCIGS イベントの 6 週間未満前に開催された競技団体大会のチャンピオンは、大会終了から 5 日以内にすべての登録書類を提出しなければなりません。これらの基準を満たさなかった場合、世界大会への出場が認められない可能性があります。

1.6.3 競技者からの質問

すべての競技者は個人として例外なく、現行の WCIGS ルール&レギュレーションおよびスコアシートをよく読み、理解をする責任があります(JCIGS ルール&レギュレーションは WCIGS ルール&レギュレーションに準拠しています)。ルール&レギュレーションを含むすべての JCIGS 関連書類は、協会ホームページからダウンロードできます。競技者がルール&レギュレーションについて不明な点があれば、E-mail にて競技会事務局宛 (competition@scajconference.jp) に連絡してください。また、競技者は競技会の開始前に開催される公式の競技者ミーティングで質問をする機会もあります。

1.6.4 規約

WCIGS/JCIGS 競技者および優勝者は、スペシャルティコーヒー業界のロールモデル(模範)であることが求められます。そのため、以下の事項に同意・遵守する必要があります:

- A. World Coffee Events Ltd. およびその関連会社・代理人・代表者に対し、競技者の氏名、肖像、または映像を、ビジネス目的(例:マーケティングやプロモーション)で無償使用することを許可すること。
- B. WCC ウェブサイトに掲載されている「競技者行動規範」を読み、遵守すること。
- C. WCC ウェブサイトに掲載されている「チャンピオン行動規範」を読み、遵守すること。
- D. SCAJ の好評を維持するために、積極的に活動すること。
- E. JCIGS 優勝者、及び決勝進出者は、翌年以降の SCAJ が企画開催するセミナーのデモバリスタに積極的に参加協力すること。
- F. JCIGS に出場しない年度においては、ジャッジキャリアレーションでのキャリアレーションバリスタ(デモバリスタ)に積極的に参加協力すること。

2. 競技会

2.1 概要

- A. 大会は、予選と決勝の 2 つのラウンドで構成されます。
- B. 予選ラウンドでは、コーヒーとアルコールを組み合わせたホット/ウォームドリンク 2 杯と、コールドドリンク 2 杯を提供します。
- C. 予選ラウンド終了後、得点の高い上位 6 名が決勝ラウンドへ進出します。
- D. 決勝ラウンドでは、競技者はアイリッシュコーヒを 2 杯と、コーヒーとアルコールを組み合わせたデザイナーードリンク(ホット/ウォームまたはコールドのいずれか)を 2 杯作ります。

2.3 ステージプレゼンテーション

- A. 各競技者には、指定されたステーションで合計 20 分間が与えられます。内訳は以下のとおりです。
 - i. 準備時間: 10 分
 - ii. 競技/パフォーマンス時間: 10 分
- B. ジャッジは 4 名で構成され、テイスティングジャッジ 2 名、テクニカル/ビジュアルジャッジ 1 名、ヘッドジャッジ 1 名です。
- C. 競技者は、パフォーマンス時間中にコーヒーを抽出しなければなりません。パフォーマンス時間の前に抽出を行った場合、そのドリンクのすべてのテイスティングスコアで 0 点が与えられます。ただし、プレゼンテーションのために事前に用意したコールドブリューなど、追加の抽出要素をドリンクに加えることは認められます。主な抽出要素がパフォーマンス時間中に作られていることが条件です。

2.3.1 予選ラウンド

- A. 競技者は合計で 4 杯のドリンクを提供しなければなりません:
 - i. コーヒーとアルコールを組み合わせたホット/ウォームのデザイナーードリンク 2 杯(同一のもの)
 - ii. コーヒーとアルコールを組み合わせたコールドデザイナーードリンク 2 杯(同一のもの)
- B. 競技者はスポンサーが提供するスピリッツとシロップを使用しなければなりません:
 - i. 競技者は、その年度のスピリッツスポンサーが提供するアルコールを、ホット/ウォームドリンクとコールドドリンクの両方で使用しなければなりません。スポンサー提供のアルコールを使用しなかった場合、そのドリンクのすべてのテイスティング評価項目で 0 点となります。
 - ii. 競技者は、その年度のシロップスポンサーが提供するシロップを、ホット/ウォームドリンクとコールドドリンクの両方で使用しなければなりません。スポンサー提供のシロップを使用しなかった場合、そのドリンクのすべてのテイスティング評価項目で 0 点となります。
- C. 競技者は、競技時間中に提供されるエスプレッソマシンを使用して、少なくとも 1 セットのドリンクを作らなければなりません。エスプレッソマシンを 1 セットのドリンクでも使用しなかった場合、ホット/ウォームドリンクのすべてのテイスティング項目で 0 点となります。もう一方のドリンクセットについては、どのような抽出方法を選んででもかまいません。コーヒーは競技時間中に挽かなければならず、これを守らなかった場合、「プロフェッショナルに抽出されたコーヒー(Coffee Brewed Professionally)」の評価項目で 0 点となります。

2.3.2 決勝ラウンド

- A. 競技者は合計で 4 杯のドリンクを提供しなければなりません：
- i. コーヒーとアルコールを組み合わせたデザイナーードリンク 2 杯(同一のもの)
 - ii. アイリッシュコーヒー 2 杯(同一のもの)
- B. デザイナーードリンクは競技者の自由選択です。予選ラウンドで作ったドリンクを再現しても、新しく考案したドリンクでもかまいません。また、ホット/ウォームでもコールドでもかまいません。
- C. 競技者はスポンサーが提供するスピリッツとシロップを使用しなければなりません：
- i. 競技者は、その年度のスピリッツスポンサーが提供するアルコールを、デザイナーードリンク及びアイリッシュコーヒーに使用しなければなりません。スポンサー提供のアルコールを使用しなかった場合、そのドリンクのすべてのテイスティング評価項目で 0 点となります。
 - ii. 競技者は、その年度のシロップスポンサーが提供するシロップを、ホット/ウォームドリンクもしくはコールドドリンクで使用しなければなりません。スポンサー提供のシロップを使用しなかった場合、そのドリンクのすべてのテイスティング評価項目で 0 点となります。
- D. 競技者は、どのような方法でコーヒーを抽出してもかまいません。フィルター抽出器具を使用し、提供されたエスプレッソマシンを使わない場合は、自分で器具を用意する責任があります。

2.4 飲料の定義

- A. 競技者は、コーヒーやアルコールを含む材料を各自で用意する責任があります(スポンサーが提供するアルコール及びシロップを除く)。
- B. 競技者は提供されるアルコール及びシロップに自身が用意する材料やアルコールを追加することができます。ただし、規制薬物や違法薬物は禁止とします。スポンサーが提供するアルコールは、それぞれ本来の味のままで使用する必要があります。スポンサーのアルコールがインフューズされた状態で使用することは認められません。
- C. 競技者は、ドリンクを提供するための容器を自由に選ぶことができます。ただし、決勝ラウンドにおけるアイリッシュコーヒー用のグラスは、競技会事務局が定める公式グラスとして会場にて提供されます。240mlのものであれば、自身のグラスも使用可能です。決められた容量以外のグラスを使用した場合、テクニカル/ビジュアルジャッジのスコア「総合的な外観の魅力アピール(Overall Visual Appeal)」に 0 点が付与されます。
- D. 食用可能なガーニッシュ(装飾物)を使用してもかまいませんが、ドリンクは飲用可能なものでなければなりません。ドリンクが「飲める」ものよりも「食べられる」ものだと判断された場合には、ヘッドジャッジの裁量により、「バランス(balance)」及び「総合印象(overall impression)」のスコアが減点されます。
- E. 競技者は、パフォーマンスの前後に自分のドリンクの材料を SCAJ に詳細に説明する必要がある場合があります。SCAJ は、競技終了後に競技者のドリンクレシピを公開する権利を有します(可能な限り競技者の名前を明記します)。

2.4.1 コーヒーとアルコールベースのデザイナードリンク

- A. 予選ラウンドでは、1 セットのドリンクはコールドドリンクとして、もう 1 セットのドリンクはホット/ウォームドリンクとして提供しなければなりません。もし競技者が 2 セットともコールドドリンク、または 2 セットともホットドリンクを提供した場合、スコアの高い方のドリンクセットのすべてのテイスト評価項目が 0 点となります。
- B. 決勝ラウンドでは、コーヒーとアルコールをベースにしたデザイナードリンクについて、予選ラウンドで使用した同じレシピを使用しても、新しいレシピを使用することも可能です。また、ドリンクはホット/ウォームでもコールドでも構いません。

2.4.2 アイリッシュコーヒー

- A. アイリッシュコーヒー用のグラスは、JCIGS より規定のグラスとして提供されます。
240mlのものであれば、自身のグラスも使用可能です。決められた容量以外のグラスを使用した場合、アイリッシュコーヒーのビジュアル/テクニカルジャッジのスコア「総合的な外観の魅力アピール (Overall Visual Appeal)」に 0 点が付与されます。
- B. アイリッシュコーヒーはホット/ウォームで、コーヒー、ウイスキー、砂糖、無香料の動物性(牛に限る) クリームのみで構成されていなければなりません。
- C. 競技者は、使用するコーヒーや抽出方法を自由に選ぶことができます。もし提供されたエスプレッソマシンを使用せずにフィルター抽出器具を使用する場合は、自身で器具を持参する必要があります。
- D. ウイスキーは国籍、ブランド、熟成年数を問わず、どのようなものを使用しても構いません。もし SCAJ がウイスキーのスポンサー契約を締結した場合、競技者は提供されたウイスキーを使用しなければなりません。SCAJ は、スポンサー契約が成立した場合、決勝の少なくとも 4 週間前までに競技者へ通知します。スポンサー提供のアルコールを使用しなかった場合、そのドリンクのすべての味覚評価項目が 0 点となります。
- E. 砂糖の種類は競技者が自由に選ぶことができます(ハチミツや無香料のシュガーシロップも使用可能です)。競技者は使用する砂糖は自身で準備をしてください。
- F. ドリンクに使用する乳製クリームの量は、風味のバランスを取るために競技者の裁量に任されます。
- G. 使用が認められていない材料を使用した場合、そのアイリッシュコーヒーのすべてのテイスト評価項目が 0 点となります。

3. 競技の手順

3.1 競技ステージエリア

- A. 競技スペースは、競技ステーションを備えたステージで構成されます。競技ステーションのレイアウトは、年ごとに変更される場合があります、また、他の競技と共用される場合もあります。
- B. 各競技者には、開始時刻とステーション番号が割り当てられます。

4. 機器、アクセサリ類、および原材料

4.1 エスプレッソマシン

競技者は、公式の JCIGS エスプレッソマシンスポンサーから提供されるエスプレッソマシンを使用しなければなりません。JCIGS が提供するエスプレッソマシンは、技術的な構成が固定されており、競技者が変更することはできません。エスプレッソマシンは以下の仕様にキャリブレーションされます。温度は摂氏 90.5～96 度（華氏 195～205 度）の間、ポンプ圧力は 8.5～9.5bar の間に設定されます。エスプレッソマシンのマシンテーブル上での位置は、健康および安全上のリスクを引き起こさず、ステージ上の作業の流れ、水、および機器への電力供給を妨げない限りにおいて、各競技者によって合理的な範囲内でわずかに調整することができます。

4.1.1 液体や材料をマシン上へ置かない

エスプレッソマシンの上部に、いかなる種類の液体や材料も置いたり、注いだりすることはできません（例：カップに水を入れる、液体や材料を注いだり混ぜたりする、材料を温めるなど）。競技者が液体や材料をマシン上部に置いたり注いだりした場合、失格となります。

4.1.2 失格事項

競技者は、エスプレッソマシンのいかなる要素、設定、または構成部品も変更、調整、または交換してはなりません。いかなる変更や調整も失格事由となる場合があります（例：ポルタフィルター、バスケット・インサート、温度、圧力、スチームワンド・チップ（先端）など）。誤用または乱用による競技機器へのいかなる損傷も、ヘッドジャッジの判断により失格事由となります。

4.2 グライNDER

- A. 競技者は、競技時間中にコーヒーを挽かなくてはなりません。そうでない場合、テクニカル/ビジュアルジャッジのスコアシートの「コーヒー抽出方法のプロフェッショナルさ (coffee brewed professionally)」の項目で 0 点が与えられます。競技者は、パフォーマンス中に 2 台を超えるグラインダーを使用してはなりません。これに違反した場合、競技者はテクニカル/ビジュアルジャッジのスコアシートの「コーヒー抽出方法のプロフェッショナルさ (coffee brewed professionally)」の項目で 0 点を受け取るようになります。
- B. グライNDERは、その位置が健康および安全上のリスクを引き起こさず、ステージ上の作業の流れ、水、および機器への電力供給を妨げない限り、提供されるいずれかのテーブルに置くことができます。

4.3 提供される機器と備品

各競技者のステージステーションには、以下のものが備え付けられます。

- A. マシンテーブル(エスプレッソマシンおよびグラインダー用)
- B. 作業テーブル (Worktable)
- C. プレゼンテーションテーブル(ジャッジテーブル)
- D. エスプレッソマシン
- E. ノックボックス
- F. ゴミ箱
- G. コンテナ(準備時間及び片付け時間用)

4.4 推奨される機器と備品

競技者は、自身のプレゼンテーションに必要な備品をすべて持参する必要があります。競技者は、移動中や競技中に破損が生じることを考慮に入れるべきです。競技者は、競技中の自身の機器および付属品に対して責任を持ち、管理しなければなりません。JCIGS、ボランティア、およびイベントスタッフは、競技者準備室、競技エリアに残された物品の安全に対して責任を負いません。競技者が持参できる備品のリストには、以下のものが含まれます。

A. グライNDER (JCIGS が提供するエスプレッソ用グラインダーを使用することができます。)

B. 抽出器具

C. タンパー

D. ショットグラス

E. スチーム用ピッチャー

F. 予選ラウンドのドリンク用グラスウェアおよび食器

G. 必要とされる特定の器具

H. パータオル/清潔なクロス (練習用および競技用)

I. 清掃用品 (カウンター・ブラシ、グラインダー・ブラシなど)

J. トレイ (複数可) (ジャッジにドリンクを提供するためのもの)

4.5 追加の電気機器

競技者は競技時間中、グラインダー以外の電気機器を 2 つまで使用することができます。競技者は、事前に持ち込む電気機器を競技会事務局に申告してください (例: ホットプレート、ハンドミキサーなど)。申告しなかった場合、競技者はその機器を競技での使用を許可されないリスクを負います。競技者は、持ち込み機器が大会会場で使用できるかどうか、アダプターやコンバーター (電気変換器) が必要でないかなどを、自身で確かめてください。SCAJ ではいかなるアダプターも変換機も用意しません。競技者使用のための電気コンセントは、バックヤードでは利用できない場合があります。予選大会では、2 台目のグラインダーを含め、1500W までの使用となります。

4.5.1 その他の電気機器

競技者は、JCIGS がスポンサー提供する機器を除き、バッテリー駆動のものであれば何点でも持参することができます。ただし、競技者は、自身の機器が適切に動作することを確認する責任があります。

4.6 スポンサー提供のアルコール

競技者は、デザイナードリンクやアイリッシュコーヒのラウンドで、当該年度のスポンサーから提供されるアルコールを使用しなければなりません。アルコールおよび/または材料のスポンサーは、イベントの遅くとも 4 週間前に SCAJ ウェブサイトで発表されます。いずれかのラウンドについてスポンサーが指定されていない場合、SCAJ はチャンピオンシップの少なくとも 4 週間前に競技者に通知します。競技者がスポンサー提供のアルコールを使用しない場合、そのドリンクのすべてのテイスティング項目で 0 点が与えられます。

4.7 アイリッシュコーヒーグラス

アイリッシュコーヒー用のグラスは、決勝ラウンド用に JCIGS より規定のグラスとして提供されます。

240mlのものであれば、自身のグラスも使用可能です。決められた容量以外のグラスを使用した場合、アイリッシュコーヒーのビジュアル/テクニカルジャッジのスコア「総合的な外観の魅力アピール(Overall Visual Appeal)」に 0 点が付与されます。

5. 競技者が準備時間の前にすべきこと

5.1 競技者オリエンテーションミーティング

イベント開始前に、競技者オリエンテーションミーティングが開催されます。このミーティングはすべての競技者が参加しなければなりません。このミーティングでは、イベントマネージャーがアナウンスを行い、競技の流れを説明し、競技スケジュールを確認し、ステージおよびバックヤードについての説明をします。競技者は、質問や懸念事項などを JCIGS イベントマネージャーに質問することができます。競技者による JCIGS イベントマネージャーに事前の連絡がなく、オリエンテーションに参加しなかった場合、その競技者はヘッドジャッジによって失格とされる可能性があります。

各選手は作成するドリンクの詳細、作成手順の用紙を提出する必要があります。用紙は事前に配布します。競技会当日に用紙を持参してください。SCAJ は、ドリンクレシピ等をメディアへ掲載する権利を保持しています。

5.2 準備/練習用ルーム

競技者の準備/練習用として指定されたエリアが設けられます。このエリアは、競技者、コーチ、ボランティア、およびJCIGS事務局のためのものです。JCIGSジャッジ、報道関係者/メディア、競技者の家族、およびサポーターメンバーは、JCIGSイベントマネージャーの許可なしにこのエリアに立ち入ることはできません。競技者は、自身の機器、付属品、材料などをこの部屋に保管することができます。冷蔵が必要な材料のために、冷蔵庫が提供されます。また、食器洗浄用シンクが用意されていますので、競技者は自身の皿やガラス食器などをきれいにしておくようにしてください。また、自身の食器備品の管理をしてください。ボランティアスタッフは、各競技者の食器備品の破損や紛失に責任を負いません。

5.2.1 練習時間

各競技者には、予定された練習時間が割り当てられます。練習時間は、競技時間に基づいて予定が組まれます(例:最初に予定されている競技者は、最も早い練習時間が予定されます)。JCIGS は、割り当てられた練習時間外での練習スペースへのアクセスを保証しません。競技者が予定された練習時間に遅れた場合、追加の練習時間は提供されません。予期せぬ出来事により競技者が予定された練習時間に出席できない場合、できるだけ早くイベントマネージャーまたはステージマネージャーに連絡するのは、競技者の責任です。

5.3 競技中の音楽

5.3.1 予選ラウンド

予選ラウンドでは、競技者は音楽をかけることができません。

5.3.2 決勝ラウンド

競技者は、自身の競技時間にかける音源を持参することができます。SCAJ では CD のみ再生することができますが、CD 以外の音源は対応することができません。音楽には、冒涇、不敬な言葉が入ってはいけません。競技者の責任において JCIGS イベントマネージャー、もしくは競技会事務局へ手渡してください。また競技終了後に返却を希望される場合は、ご自身で受け取るようにしてください。返却されなかった音源は競技会後に処分されます。競技がオンラインで配信される際は、ライセンスフリーの楽曲を使用して配信される可能性があります。

5.4 時間厳守

競技者は、予定されている準備時間の最低 45 分前までに、準備/練習用ルームにいる必要があります。予定されている準備時間の開始時に会場にいない競技者は、失格となる場合があります。スケジュールが遅延した場合でも、競技者は予定された時間に準備ができているべきです。

5.5 ステーションのセットアップ

JCIGS イベントスタッフは各競技者の準備時間前に、競技者が要望した通りに各ステーションがセットされていることを確認する責任があります(例: JCIGS イベントスタッフは、競技者の要望に従って、各競技者のグラインダーがエスプレッソマシンの右側または左側に配置されていることを確認します)。

5.5.1 グラインダーおよび追加の電気機器のセットアップ

競技者が追加の電気機器を持参している場合、競技開始前に JCIGS イベントマネージャーに通知する必要があります。イベントスタッフは準備時間の開始前に競技者に連絡を取り、競技者がイベントスタッフに自身のグラインダーや持ち込んだ電気機器を運ぶのを手伝ってもらいたい確認を取ります。しかし、これらの機器が設置され、また、コンセントが差し込まれた後は、競技者はこれらの機器に触ることはできません。即座にその場から離れてください。

【要注意】

コーヒー豆は準備時間が始まるまでは、ホッパーの中に入れてはいけません。

5.6 サポーター/アシスタントのステージ立ち入り禁止

競技者、JCIGS のボランティアおよび公式関係者以外の者は、競技者の準備時間、競技時間、および片付け時間中にステージ上へ立ち入ることはできません。

6. 準備時間

6.1 準備時間の開始

各競技者には、10 分の準備時間が与えられます。前の競技者が競技時間を開始した後、次に予定されている競技者は、JCIGS ステージマネージャーおよび/またはタイムキーパーからの助言に基づき、10 分の準備時間を開始することができます。準備時間の目的は、ステーションをセットアップし、競技のためのバーを準備することです。競技者が割り当てられたステーションに到着し、そのステーションが自身の仕様に設定されていることに同意した後、タイムキーパーは、競技者に開始の準備ができているか尋ねます。競技者は、手を挙げ、「タイム/始めます」とコールして 10 分の準備時間を開始します。指定された公式のタイムキーパーは、競技者が時間を開始した瞬間にストップウォッチを始動させます。

6.2 カート

備品運搬の際、カートを使用することができます。競技者は自分自身で、カートやコンテナから備品などを降ろしてください。カートやコンテナは準備時間中に競技エリア外に出してください。準備時間のタイムキーパーは、準備時間が終わったら、カートやコンテナをステージから下げます。カートは、競技時間中にステージ上にないようにしてください。

【要注意】

もし、準備時間が終わった時点で、カートやコンテナの上に品目が残っていても、競技者はカートから積荷を降ろすことはできません。競技者は、競技時間が始まってから、カートやコンテナから積荷を降ろしてください。

下記の「アクセサリを忘れたら」を参照してください。

6.3 ジャッジ用プレゼンテーションテーブル

テーブルクロス、水、ナプキン、および装飾品は必須ではありません。装飾の程度によっては、ヘッドジャッジの裁量により、ホスピタリティの項目で減点となる可能性があります。

6.4 試し抽出

競技者は、準備時間中に試し抽出を行うことが許可されており、推奨されます。バック(ケーキとも呼ばれます)は、競技時間の開始時にポルタフィルターに残っていても構いません。

6.5 カップを事前に温めておく

競技者は、準備時間中にカップを温めておく事ができます。しかし競技時間の開始時には、カップの中に水分が無い様にしてください。エスプレッソマシンの上に液体の入ったカップがある場合には失格となります。

(「液体や材料をマシン上へ置かない」を参照してください。)

6.6 準備時間の終了

競技者は、割り当てられた 10 分間の準備時間を超過することはできません。タイムキーパーは、準備時間中に 3 分、1 分、および 30 秒のアナウンスを競技者に与えます。タイムキーパーは時間が終了したことを示し、競技者にステーションから離れるように求めます。

7. 競技時間

7.1 司会者による紹介

10 分間の準備時間が経過し、ジャッジの準備が整うと、司会者 (Master of Ceremonies) が競技者を紹介します。各競技者は、競技時間を通してワイヤレスマイクを装着する必要があります。

7.2 競技時間の開始

司会者は、競技者に開始する準備ができているかを尋ねます。競技者は競技開始時に、タイムキーパーに競技開始の意思表示を明確にし、タイムキーパーの押すタイマーの作動確認後、競技を開始してください。

10 分の競技時間の経過確認については、競技者自身が責任を持って行ってください。しかし、競技者はいつでも残り時間を確認することができます。競技時間のタイムキーパーは、残り時間が 3 分、1 分、30 秒のときに、競技者に対してアナウンスをします。タイムキーパーはいかなる時でも、指定の時間のアナウンスを決められた時間に行います。それは、もしかすると競技者が話をしているときであるかもしれません。

【要注意】

もし、何かの理由によりタイマーが故障してしまった場合、競技者は自身の競技時間を止めることができません。その際には、タイムキーパーの時間が公式タイムとなります。競技者は上記の通り、時間のアナウンスの提供を受けます。

7.3 提供することが求められているドリンク

すべてのドリンクは、ジャッジ用のプレゼンテーションテーブルに提供してください。どのカテゴリーのドリンクから提供するかは、競技者の判断に任せられます。ただし、1 カテゴリーのドリンクの提供を全て終える前に他のカテゴリーのドリンクの提供を行った場合、提供を終えていないカテゴリーのドリンクは審査対象外となります。ドリンクを構成する原材料の準備は競技時間内であればいつでも可能です。

7.4 ボランティアスタッフが提供されたドリンクを下げることにについて

それぞれのカテゴリーのドリンクが提供され、ジャッジにより評価された後に、ヘッドジャッジの指示により、ボランティアスタッフはジャッジ用のプレゼンテーションテーブルよりドリンクを下げます。競技者がボランティアスタッフに特別な指示を出す際には、競技時間開始前に、JCIGS イベントマネージャーとボランティアスタッフにその指示をよく説明する必要があります。ボランティアスタッフは競技者の邪魔にならないように最善をつくしますが、競技者は自身のステーションをコントロールする責任があります。

7.5 作業エリアの区画

競技者は、JCIGS によって提供された作業エリア、すなわちマシンテーブル、作業テーブル、およびプレゼンテーションテーブルのみを使用することができます。競技エリアの床に直接または上部に置かれるその他の家具および/または機器 (例: スタンド、テーブル、ダムウェーター、ベンチなど) を持ち込んだ場合、自動的に失格となります。競技者は、保管のためにいずれの競技用テーブルの下スペースも使用することはできません。これに対する唯一の例外は、スタンド式のノックボックスが許可されることです。

7.6 競技時間の終了

競技時間は競技者が手を上げて競技終了の意思表示をしたときに終了します。競技者は「タイム/終わります」と明確に聞こえるように意思表示してください。競技者は好きなときに、競技を終了することができます。例えば、競技者が、ジャッジ用のプレゼンテーションテーブルに最後のドリンクを提供したときにも終了できますし、また、その後、作業エリアに戻り、競技時間のぎりぎりまでワークテーブル等の清掃をしてから終了することもできます。ヘッドジャッジは、タイムキーパーのストップウォッチから競技者の競技時間を記録します。ヘッドジャッジまたは公式タイムキーパーが記録したタイムは、採点を記録する目的だけに使われます。競技者は、規定時間よりも早く終了することで減点を課せられることはありませんし、また、特別な加点ともなりません。

7.7 競技時間終了後のコミュニケーション

競技者は、競技時間が終了した後、ジャッジに対して話しかけないでください。競技時間後のいかなる会話も、合計点数には加算されません。競技者は、競技時間が終了した後、司会者と話し続けることはできますが、ジャッジは競技時間後に与えられたいかなる会話や説明も考慮しません。

7.8 時間超過によるペナルティ

- A. 競技者が割り当てられた 10 分間の競技時間内に終わることができなくても、完了するまでプレゼンテーションを続けることができます。
- B. 10 分を越えた場合、総合得点より毎秒ごとに 1 点減点されます。
- C. 最大の減点は 60 点です。
- D. 競技時間が 11 分を超えた競技者は失格となります。

7.9 コーチング

競技時間中、競技者に指示やコーチングはいかなる時点でも許されていません。もし、コーチングが行われた場合には、失格となります。サポーターおよび観客、他のチームメンバーからの喝采は大いにしてください。ただし、コーチ、サポーター、友人、家族などの関係者は、ステージに上がったり、進行中の競技に干渉したりすることはできません。これに違反した場合、競技者はステージマネージャーまたはヘッドジャッジの判断により失格となることがあります。

8. 技術的な問題

- A. 競技者は、以下の SCAJ 提供の機器のいずれかに技術的な問題があると考えた場合、手を挙げて「テクニカルタイムアウト」を宣言することができます。
- i. エスプレッソマシン（電源、スチーム圧、制御システムの不具合、水不足、または排水の不具合など）
 - ii. グラインダー
 - iii. すべての追加の電気機器（競技タイマーを除く）
 - iv. オーディオ・ビジュアル設備（競技者の音楽またはマイクなど）
- B. 準備時間または競技時間は、ステージマネージャー（準備時間中）またはヘッドジャッジ（競技時間中）によって一時停止されます。タイムキーパーは、「テクニカルタイムアウト」がコールされた時間を記録します。タイムキーパーに「テクニカルタイムアウト」がコールされたことを記録させるよう確実にすることは、ヘッドジャッジの責任です。
- C. 技術的な問題があり容易に解消できると判断した場合、イベントマネージャーもしくはヘッドジャッジは、競技者にその分の適切な時間を決定します。技術担当者がその問題を修正でき次第、競技者の競技時間は再開されます。
- D. 技術問題がすぐに解決できない場合、イベントマネージャーもしくは、ヘッドジャッジは競技再開を待たせるか、待たせないか、競技を中止し再度割り当てた時間で競技を再開するか否かについて判断します。
- E. 競技者が競技時間を止めなければならない場合、ヘッドジャッジ、イベントマネージャーと共に、競技者は競技スケジュールを変更し、後ほど競技を最初からやり直すための時間を調整します。
- F. 技術的な問題が競技者のミスによるものと判断された場合、追加の時間は競技者に与えない場合があります。その場合、競技者は経過した時間は保証されずに、（タイマーが止まっているところから）そのまま競技時間は再開されます。ヘッドジャッジの判断のもと決断されます。
- G. 大会用の設備機器に精通していない事はテクニカルタイムアウトの事由にはなりません。不適切な使用によって引き起こされた技術的な問題に対しては、経過時間の保証はされません。したがって、すべての競技者は、すべての競技機器の正しい使用法を理解し、従う責任があります。
- H. グループヘッド同士が一貫性が無いことや変動することは準備時間時のみ、タイムアウトの事由となります。

8.1 妨害について

ボランティア、ジャッジ、観客、カメラマンなどが、競技者にとって明白な妨害となった場合、競技者には追加時間が与えられます。ヘッドジャッジがこれらを監督する責任があり、どれだけの追加時間を保証するかを決定します。

8.2 アクセサリーを忘れたら

- A. 競技者が準備時間中に自身の機器やアクセサリ類を忘れた場合、ステージ外に忘れ物があることを JCIGS ステージマネージャー/ヘッドランナーに伝えなければなりません。そして、競技者は自身で不足している品物を回収するためにステージから出ることができます。ただし、その間も準備時間は停止されません。
- B. 競技者が競技時間中に自身の機器やアクセサリ類を忘れた場合、ステージ外に忘れ物があることをヘッドジャッジに伝えなければなりません。そして、競技者は自身で不足している品物を回収します。この間も競技時間は停止されません。
- C. ボランティアスタッフ、サポーター、チームメンバーや観客によって、何かを持ってきてもらうことはできません。

9. 片付け

競技者は、競技時間が終了した後、ステーションの片付けを始める必要があります。カートを使用した場合は、イベントスタッフがカートをステージに運び戻し、競技者が自身の備品を積み込むことができます。競技者が自身の電気機器を持参した場合、イベントスタッフ/ボランティアスタッフは競技者がこれらの品物をステーションから撤去するのを手伝うことができます。競技者は、すべての私物機器と備品を撤去し、自身のステーションをきれいに拭いてください。ジャッジは片付け時間を評価しません。

10. 競技終了後

10.1 得点管理

予選ラウンドの得点は、決勝ラウンドには持ち越されません。

10.1.1 オフィシャルスコアキーパー

JCIGS のオフィシャルスコアキーパーの責任下のもと集計、スコア等も厳密に管理されます。

10.1.2 競技者の総合得点

競技者の総合得点は、2 名のテイストジャッジと 1 名のテクニカル/ビジュアルジャッジの得点の総合計から、ペナルティや超過時間を減点することにより集計されます。

※注意: ヘッドジャッジのスコアシートは、競技者の総合得点には加算されません。

10.1.3 同点の場合の処理

2 名以上の競技者が同点であった場合、「フレーバーのコンビネーションとバランス (Balance and combination of flavors)」で最も高い得点を獲得した競技者が勝利し、同点の他のどの競技者よりも上位に位置付けられます。

同点の競技者が「フレーバーのコンビネーションとバランス」で同じ得点であった場合、「ドリンクの味わいの総合的な印象 (Overall impression of the taste of the drink)」で最も高い得点を獲得した競技者に上位の順位が与えられます。

10.2 デブリーフィング

競技後、競技者はイベント主催者から発表されたスケジュール(対面またはオンラインの場合があります)に従い、ジャッジとともに自身のスコアシートを確認する機会が与えられます。SCAJ イベントマネージャーがスコアシートのコピーをスキャンする前に、競技者がオリジナルのスコアシートを保管することは許可されません。

11. 審査基準

11.1 競技エリア

テクニカル/ビジュアルジャッジは、パフォーマンス/競技時間の開始から終了までの競技エリアの清潔さ、および作業の流れと整理整頓について評価します。

11.2 テイスト評価

それぞれのドリンクの味わいの評価に対して点数が付与されます。競技者は、コーヒーと他食材とのマッチングを考慮し、高品質なアルコールとコーヒーのドリンクを創作することに努めてください。最終的にコーヒーが支配的な味わいでないにしても、明らかに含まれているとの認識ができれば良いでしょう。そして競技者はジャッジに対し口頭にて、なぜそのコーヒーでなくてはいけなかったのか、コーヒーのプロファイル、ドリンクの内容構成、主な味わいやシグネチャードリンクに含まれる副材料や提供するドリンクのバックグラウンドにある考え方(なぜこのドリンクを提供しようと思ったのかなど)等の説明をするといでしょう。

11.3 飲料のプレゼンテーション

ドリンクの視覚的なプレゼンテーションに基づいて得点が与えられます。

11.4 テクニカルスキル

競技者の技術的な知識とスキルを評価します。

11.5 パフォーマンス

競技者に対するジャッジの総合的な印象、スキル、フレイアー(個性・センス・パフォーマンス能力など)、そして競技者個人としてのプレゼンテーション、ドリンク自体のプレゼンテーションを評価し得点が与えられます。

12. 評価スケール

評価スケールは、テイストジャッジ、ビジュアル/テクニカルジャッジ共に同様です。

評価範囲は 0-6 点です。1 点から 6 点の間において、0.5 点きざみの評価が得られます。ジャッジは、この評価範囲を全体的に広く使用して評価をすることが推奨されます。低い点数はプレゼンテーションの内容が劣っていることを示し、高い点数は優れていることを示します。項目によっては評価された点数の 2 倍または 4 倍の得点が与えられます。

許容できない(Unacceptable) = 0

許容はできる(Acceptable) = 1

標準(Average) = 2

良い(Good) = 3

とても良い(Very Good) = 4

優秀(Excellent) = 5

並外れている驚くべき(Extraordinary) = 6

13. テクニカル/ビジュアル評価方法

以下は、テクニカル/ビジュアルスコアシートの説明である。各競技者は1名のテクニカル/ビジュアルジャッジによって評価されます。

13.1 予選 — テクニカル/ビジュアル評価

13.1.1 外観の創造性

ジャッジは提供されたドリンクを両方評価します。ジャッジはドリンクの審美的な外観のオリジナリティを探し求めます。ジャッジは、ドリンクのコンセプトやスタイルについても考慮し、それがドリンクの外観の創造性、最終的な見た目、そしてドリンクのプレゼンテーション（提供時の外観・見た目・魅せ方など）にどのようにつながり、影響を与えているかを評価します。

13.1.2 総合的外観の魅力的アピール

視覚的観点のみから、そのドリンクはどれだけ魅力的であり、ひきつけられるか。

例えば、そのドリンクは視覚的の魅力によってカフェやバーなどで買いたくなる、飲みたくなるようなものであるか。ジャッジは、両方のドリンクの最終的なプレゼンテーション（提供時の外観・見た目・魅せ方など）の一貫性（容量、ガーニッシュ、プレゼンテーションが全般的に同一であること）についても考慮します。

13.1.3 プレゼンテーションの総合評価

視覚的に、競技者のドリンクのプレゼンテーションはどれだけ魅力的なものであるか。これには、お客様をドリンクの作成プロセスに誘いこめるかのバーテンダーとしてのスキルも含まれます。ジャッジは、競技者のドリンクの紹介から、その準備方法、提供されるまでの過程、そして、競技者のプレゼンテーション（競技・パフォーマンス全体）を顧客が見るとしたら、その提供されるまでの過程にどれほど魅力があり、興味深いであろうかを評価します。ドリンクの作成における自信、フレーア、それとスタイルの表しかたも評価されます。

13.1.4 コーヒー抽出のプロフェッショナルさ

- A. 競技者はどの抽出方法も選択することができます。競技者の抽出技術（例：選択したコーヒーの知識、一貫したグラインディングとドージング、コーヒーの無駄、抽出時間、抽出器具の理解度、など）が考慮されます。
- B. ジャッジは、抽出方法が最終的な結果にどう関連しているかを考慮します。競技者は、抽出方法を選択した理由と、その抽出方法がドリンクで使用するコーヒーの準備にどのような影響や効果をもたらすかを説明しなければなりません。
- C. 競技者は、コーヒーの無駄のマネージメントを適切に行っていることを示すため、カクテルの材料として抽出するコーヒーのすべてまたはほとんどを余すことなく使用すべきです。

*この項目では、2倍の得点が与えられます。

13.1.5 スピリッツ準備のプロフェッショナルさ

- A. 競技者は、どのようなカクテル作成方法を用いても構いません。競技者のバーテンディング技術（例：注ぎ、シェイク、ブレンド、計量、ステアなど）が考慮されます。ステージ上でカクテルの材料を計り、注ぎ、作成した競技者は高く評価されるでしょう。
- B. 創造性、スムーズさ、道具や材料のコントロール、シェイク/ミックスやブレンドの正確さ、アルコールや副材料の計量、器（グラス）への注ぎなどに対して高い評価が与えられます。
- C. ドリンクの作成時にこぼしたり、落としたり、つまずいたり、壊れたりした場合なども、総合的にこの項目のスコアに影響します。
- D. 競技者がパフォーマンス時間開始前にグラスやビバレッジ容器に氷を入れると減点となります。ビバレッジ容器は競技時間前に冷凍庫や冷蔵庫で冷やすことは認められます。ただし、競技時間開始前に氷をビバレッジ容器に入れることは認められません。フローゼンスフィア、キューブ、その他の凍らせたものは氷とみなされ、パフォーマンス時間開始前にグラスやビバレッジ容器に入れることは認められません。

*この項目では、2 倍の得点が与えられます。

13.1.6 副材料のプロフェッショナルな使用方法

- A. 競技者は、選択した副材料について、説明を通じて、その品質、準備、ドリンク全体の風味バランスやスタイルとの適合性について理解し、プロフェッショナルな使用方法を実証しなければなりません。
- B. 本項における「副材料」については、コーヒーとスピリッツを除く、その他のすべての材料（氷、ジュース、ピューレ、インフューズドウォーター、追加材料、飾り付け、クリームなど）が含まれます。
- C. 競技者は、なぜその副材料を選んだのか（品揃え、品質、風味との適合性など）、また、その副材料の調理法の選んだ理由、そして、この 2 つの要素が最終的な結果（食感、温度、視覚的効果、フレーバーバランスなど）にどのような影響を与えるかを説明しなければなりません。
- D. 競技者は、パフォーマンス中に、これらの副材料の準備における正確さと器用さを実演しなければなりません。
- E. 競技者が、副食材やガーニッシュを競技時間内に準備した場合、より高い得点が与えられるでしょう。

13.1.7 プロフェッショナルなパフォーマンス

- A. 競技者のパフォーマンス評価は、ドリンクの作成において魅せるサービススキル、フレアー、およびスタイルに基づいて評価されます。
- B. プロフェッショナリズムは、バリスタやバーテンダーの職業に関連する資質、優れた顧客サービススキル、ワークフローや時間の管理能力などが考慮されます。この項目では、文化の違いも考慮されます。競技者は、自身がパフォーマンスをコントロールできるホスピタリティのプロであることを証明しなければなりません。
- C. 競技者は、ホスピタリティとサービスのスキル、ワークフロー、プロのバリスタ／バーテンダーとしての総合的なプロ意識によって、ジャッジの体験をどのように高めたかに基づいて評価されます。文化の違いやサービスのスタイルは考慮される。

*この項目では、2 倍の得点が与えられます。

13.1.8 清潔で整頓されたワークスペースか

- A. 競技開始時、競技者の作業ステーションの清潔さと整然としているか(作業テーブル、準備テーブル、エスプレッソマシン上部)を評価します。もし、作業エリアが散らかっていたら(例えば、カウンターやマシン上にコーヒーの粉、こぼれ、割れたガラス、汚れなど) 減点されます。
- B. グライNDER周辺にごく少量のコーヒーの粉が散らかっている場合には許容範囲とされますが、競技開始時にはノックボックスは空できれいな状態であればいけません。
- C. 競技開始時に、ポルタフィルター内にコーヒーパック(ケーキ)が入っていても構いません。これは、この項目では減点されません。
- D. 作業エリアを実践的かつ効果的に整頓されているか、競技者の能力を確かめます。
- E. 競技者は、競技時間、パフォーマンスの開始から終了まで使用した器具を清潔にし、整理整頓する能力を示さなければなりません。
- F. 競技者は、競技終了時に作業場を清潔・整然された状態にしておく必要があります。

13.1.9 プレゼンテーションを通して衛生的か

ジャッジは、競技全体を通して競技者が衛生的であったかを審査します。許容できない例としては、手が顔や口などに触れた後にそのまま手を使ってドリンクの準備をした場合、手が床に触れた後にそのまま手を使ってドリンクを準備した場合、素手で氷に触れた場合、などが含まれますが、これらに限定されません。

クロスの適切な使用法や、グラス容器やガーニッシュの適切な取り扱いも、このカテゴリーで考慮されます。

13.2 決勝 — テクニカル/ビジュアル評価

競技者は、予選ラウンドのテクニカル/ビジュアル評価と同じ手順で評価されます。ただし、アイリッシュコーヒーについては、「外観の創造性 (Visual Creativity)」と「総合的な外観の魅力的アピール(Overall Visual Appeal)」は採点されません。

13.2.1 明確な色の区別

これはアイリッシュコーヒーのコーヒーの液体とその上に乗せられるクリームが分かれているかについての項目です。コーヒーの濃い茶色とクリームの純白さとの間ににじみが無い明確さがあれば高得点が与えられるでしょう。クリームとコーヒーが完全に混ざり込んでいる場合には 0 点が与えられるでしょう。

13.2.2 表面の外観

この項目ではアイリッシュコーヒーのクリーム表面の外観にコーヒーのにじみが無く、そしてそのクリームに気泡が無く、つやのある状態にて提供された場合は高得点が与えられるでしょう。

15. テイスト評価方法

15.1 予選 — テイスト評価

15.1.1 ドリンクの温度の心地よさ(ホット/ウォーム、コールド)

- A. ドリンクの温度帯は提供された時の温度でジャッジに評価されるでしょう。
- B. ジャッジに提供をする前に競技者はドリンクの温度についての説明と、それがテイストにどのような影響を与えるかを説明しなければいけません。
- C. 競技者の描写がどの程度正確であるか、またドリンクの温度がどの程度心地よいかという点も評価の対象となります。
- D. 競技者が正確かつ心地よい体験をジャッジに提供できれば、より高い得点が付与されます。
- E. テイストへの影響の説明がない単純な温度の説明(「ホット/ウォーム」または「コールド」)のみが述べられた場合は低い得点が付与されるでしょう。
- F. 説明が全くない場合は、このカテゴリーにおいて 0 点が付与されます。
- G. ドリンクの温度は、マウスフィールとテイストの知覚、およびフレーバーバランス評価に影響を与える可能性があります。

15.1.2 ドリンクで味わうコーヒーの質

- A. ジャッジは、コーヒーの味わいを感じられるかの評価と、そのコーヒーの品質の評価をします。
- B. ドリンクにおいてコーヒーが支配的である必要はありませんが、明らかに含まれていると認識ができる必要はありません。
- C. ジャッジは、コーヒーのフレーバーを評価することで品質を評価します。低品質なコーヒーフレーバーである場合や、コーヒーフレーバーが欠如している場合には評価は低くなります。
- D. コーヒーのフレーバーの強弱は、このスコアを決定する要因とはなりません。ドリンクで感じるコーヒーの評価は、強弱・支配性・補完性・修飾性に関係なく、どのようにそのコーヒーの存在感やバランスがドリンク全体に寄与しているかを、プレゼンテーションで競技者が説明したコーヒーの識別可能な質を用いて評価します。

15.1.3 フレーバーのコンビネーションとバランス

ジャッジはドリンクの中のフレーバーがうまく連帯して動作し、バランスが取れているかを審査します。ジャッジはコーヒー、指定されたアルコールや副材料の味覚構成の相性とお互いを補完し合うかを審査します。これらのコンビネーションは決められたアルコールと副材料の両方、またはいずれかの一方を補完すると同時に興味をひく味覚体験を生む必要があります。コーヒーとアルコールの両方はドリンクを飲む際に簡単に識別される必要があります。競技者がドリンクの飲み方について指示を出す場合、ジャッジはその指示に従う必要があります。

15.1.4 ドリンクのボディ/マウスフィール

- A. ジャッジは提供されたドリンクのボディ/マウスフィールが心地よいものか、およびそのスタイルのドリンクに期待されるものであるかを判断します。
- B. 競技者は、ドリンクのボディ/マウスフィールを説明することが推奨されます。また、提供するドリンクに期待されるボディ/マウスフィールのイメージを、説明において覆すこともできます。
- C. ボディ/マウスフィールの描写が正確なほど、高得点が与えられます。
- D. ボディの質は、口の中の液体の触感(タクトイル)、特に舌と口蓋の間に感知されるものに基づいています。ボディが軽いドリ

ンクや重いドリンクは、口の中の触感の質に応じて高得点を得ることができます。

15.1.5 創造性(使用した材料/作成手順/プレゼンテーション)

ジャッジは競技者が使用した材料、作成手順、プレゼンテーションのすべての組み合わせを考慮し、オリジナリティを探してください。ジャッジはドリンクのコンセプトの独創性、プレゼンテーションや準備に使用される新しい方法、技術、または副材料に基づいて競技者の創造性を評価します。

15.1.6 ドリンク市場への適用性

- A. ジャッジは競技者がドリンクを作成する方法、使用される材料の種類、そして飲み物としての最終系が競技者の説明したドリンク市場に対して適切であるかも加味し、評価を行うべきです。作成されたドリンクが最も幅広い消費者層に(視覚的な魅力、味、斬新などを)アピールすると考える場合、また、実用性(準備のしやすさ、材料の入手のしやすさ、説明された市場に適応したコンセプトなど)を有すると考えられる場合は高得点が付与されるでしょう。
- B. 高い得点を得るために競技者は、作成するドリンクが目的としているマーケットと、その商業的適応性に関する情報をジャッジに説明する必要があります。

15.1.7 ドリンクの味の総合的な印象

- A. ジャッジは提供されたドリンクを評価します。ジャッジはドリンクの外観と味を個人的な印象に基づいて総合的に評価することが求められます。また、この項目では、心地よいマウスフィールや楽しめるような感応体験も評価されます。
- B. 消費者であればどのようにそのドリンクを採点するかも考慮します。

15.1.8 プロフェッショナルなパフォーマンス

- A. 競技者のパフォーマンス評価は、ドリンクの作成において魅せるサービススキル、フレアー、およびスタイルに基づいて評価されます。
- B. プロフェッショナリズムは、バリスタやバーテンダーの職業に関連する資質、優れた顧客サービススキル、ワークフローや時間の管理能力などが考慮されます。この項目では、文化の違いも考慮されます。
- C. 競技者は、自身がパフォーマンスをコントロールできるホスピタリティのプロであることを証明しなければなりません。
- D. 競技者は、ホスピタリティとサービスのスキル、ワークフロー、プロのバリスタ/バーテンダーとしての総合的なプロ意識によって、ジャッジの体験をどのように高めたかに基づいて評価されます。

15.2 決勝 — テイスト評価

- A. 競技者は、決勝ラウンドで提供されるデザイナードリンクの温度を自由に選択できます。
- B. ドリンクは、予選ラウンドのテイスト評価と同じ手順で評価されます。ただし、「創造性 (Creativity)」と「ドリンクの市場への適用性 (Commercially Applicable)」は、アイリッシュコーヒーについては採点されません。

16. World Coffee in Good Spirits における嘆願

16.1 World Coffee Championships における審査/採点に関する問題

スコアの採点や集計に関する質問は、競技者のデブリーフィング中に審査チームが回答します。競技者がさらに質問がある場合は、ヘッドジャッジおよび/またはジャッジオペレーションリーダー（JOL）に相談してください。もし問題が解決されていないと感じた場合は、書面で不服を申し立てることができます（下記「嘆願」の項を参照）。その抗議は、ジャッジリーダー、WCCスタッフ、WCC競技戦略委員会（WCC CSC）によって審査され、WCCの代表者が競技者に決定を通知します。万が一、ヘッドジャッジまたはその他のWCIGSのスタッフが、競技の審査中においてWCIGS ジャッジによる不誠実な行動が見つかったり、その可能性が予想されるという事態が起こったら、以下の措置が適用されます。

- ヘッドジャッジは公式スコアキーパーから該当するすべてのスコアシートの返却を要求します。
- ヘッドジャッジはWCIGSジャッジ、WCCスタッフ、WCC CSC委員長とミーティングを行い、状況を把握します。
- その後、WCCスタッフとWCC委員長は非公開のミーティングで状況を見極めます。
- もし不正行為が深刻な場合、WCC CSCの委員長は、当該のWCIGSジャッジが今後WCIGS公認の競技会で審査ができないよう裁定する権限を有します。

16.2 World Coffee Championships におけるその他の問題

大会の開催期間中に競技者が WCIGS に関して問題を抱えた場合（例：スケジュール、ロジスティクスなど）、競技者は現地の WCC スタッフに連絡してください。WCC スタッフは、WCIGSC 会場現地で問題が解決できるよう全力を尽くします。WCC スタッフは、関係者全員に連絡をします。競技者の問題は協議され、WCC スタッフチーム、WCC JOL、および/または WCC CSC が、会場で共同して決定を下します。WCC スタッフは、その決定を競技者に通知します。

16.3 World Coffee Championships における嘆願

もし誰かが、何らかの決定や判断に同意できない場合、WCC CSC に嘆願を書面にて提出することができます。委員会が下した決定はすべて最終決定となります。嘆願には、以下の内容を記載する必要があります。

- 名前
- 日付
- 明瞭簡潔な異議申し立て文
- 日付と時間（該当する場合）
- 意見と解決策の提案
- 関係者名
- 連絡先情報

上記情報が含まれていない書面による不服申し立て、嘆願は考慮されません。問題発生から 24 時間以内に、ウェブサイト (<https://wcc.coffee/rules-regulations>) の苦情フォームから書面による苦情または嘆願書を提出しなければなりません。苦情は WCC チームによって受理され、WCC CSC と共有されます。

16.4 WCC 競技戦略委員会(WCC CSC) が審査する嘆願

ワールド・コーヒー・チャンピオンシップ WCC CSC は、書面による苦情または嘆願を審査し、できる限り速やかに回答するよう努めます。最終的な決定は、申し立てを受領してから 30 日以内に通知されます。WCC CSC は、最終的な裁定（決定）を電子メールにて書面で連絡します。

17. CB 主催イベント

17.1 CB におけるルールバリエーションについて

以下は、競技団体が大会の運営ロジスティックスにおいて調整が許可されているルールの一部のリストです。

- ・ **競技ラウンド/ 競技手順**: CB による競技会の実施を容易にするため、主催者は、予選と決勝の両方のラウンドを実施するのではなく、WCIGS の予選ラウンドのみ、または WCIGS の決勝ラウンドのみに基づく競技を実施してチャンピオンを選出することができます。
- ・ **ルール&レギュレーションの翻訳**: CB は、本書類の翻訳を作成することができます。ただし、いかなる紛争を解決する場合にも、公式の WCIGS 選手権のルール&レギュレーションが使用されます。CB は、審査および評価に関するルールを変更してはなりません。
- ・ **出場競技者最低人数**: CB 選手権は、最終的な WCE 公認イベント決勝戦に最低 6 名の出場者が必要です。最低 6 名の出場者数に達しない場合、CB は大会予定日の少なくとも 2 週間前までに、地域コミュニティ・ディレクターに状況を報告しなければなりません。
- ・ **予選ラウンド**: 競技団体は、決勝大会に先立って予選大会または予備大会を開催することができます。予選大会の構成は CB に委ねられるものとし、その形式は若干異なる場合があります。決勝大会の構成は変更できませんが、決勝大会につながる予選大会または予備大会の構成は変更できます。WCC 代表者 (REP) は予選/予備競技を開催するにあたって参加する必要はありません。チャンピオンシップイベント (決勝大会) の開催には WCC REP の参加は必要です。
- ・ **練習時間**: 競技者の練習時間の長さは変更することができ、CB が決定するものとします。ただし、すべての競技者に同じ長さの練習時間を確保しなければなりません。
- ・ **練習場所**: 練習は、ステージ上、バックステージ、または会場外で行うことができます。競技者の練習時間の場所は CB が決定します。
- ・ **提供機材**: CB は、WCC と同じスポンサーの機器設備を使用する必要はありません。もし CB が機器スポンサーを獲得した場合、CB は独自に機器設備の要件を指定することができます。
- ・ **アルコールスポンサー**: CB は、WCC と同じスポンサーのアルコールを使用する必要はありません。もし CB がアルコールのスポンサーを獲得された場合、CB は独自にアルコールの要件を指定することができます。
- ・ **スコアシートの返却**: CB は、スコアシートの原本を競技会場で選手に直接返却するか、イベント終了後に電子メールで選手に送信することができます。
- ・ **マイクと音楽**: CB は、会場や利用可能な音響設備に応じて、競技者の音楽の再生や、ワイヤレスマイクの装着を許可する場合としない場合があります。
- ・ **競技者のデブリーフィング**: ジャッジは競技者とのデブリーフィングの時間を持ちます。このデブリーフィングのスケジュールは CB が決定します。デブリーフィングは大会イベントの開催中および／または大会終了後に実施される場合があります。
- ・ **競技者オリエンテーション**: すべての競技者は皆、大会前に同じ情報を提供されるべきです。すべての競技者に提供される設備機器、練習スケジュール、競技スケジュールなどの情報を知らせる必要があります。

17.2 CB が開催するイベントにおける嘆願

もし競技者からイベント期間中に、CB が開催するイベントに関しての問題が提起され、もしくは異議申し立てがなされる場合、競技者はまずイベント主催者および/または現地の WCC REP に連絡する必要があります。すべての問題は、できるだけ早く解決するよう努めるべきであり、現地での解決が最も効果的かつ適切です。大会終了後の申し立ては、効果的に仲裁することがより困難となります。

イベント主催者が問題および/または異議が現地で解決できると判断した場合、イベント主催者は格当事者に連絡し、公平な代表の参加を確保します。競技者が提起した問題および/または抗議は現地にて、イベント主催者および現地 WCC REP が協議して共同で決定を下します。CB イベント主催者および/または WCC REP が競技者に決定を通知します。

もし競技者がその決定に不平不満を持ち、嘆願を望む場合、その競技者は、問題発生から 24 時間以内にウェブサイト (<https://wcc.coffee/rules-regulations>) から入手できる苦情フォームを利用する必要があります。その苦情は、提出先として指定された CB および WCC REP に転送されます。嘆願がロジスティクスに関連するものである場合、CB は調査および仲裁(該当する場合)の全責任を負うものとされます。この場合、WCC REP は嘆願に関する相談役として参加しなければなりません。嘆願がジャッジやルール & レギュレーションに関連するものである場合、WCC REP はその問題を調査し、裁定の提案を CB に提示します。CB は必ず書面による申し立てに対応する責任があり、CB 開催イベントにおける苦情の第一窓口とみなされます。

CB および WCC 担当者は、すべての書面による嘆願を受領後 24 時間以内に WCC スタッフに報告しなければなりません。ただし、WCC スタッフは CB のジャッジやボランティアを直接認定または 管理する立場にはないため、彼らの行動を仲裁することはできません。CB イベントから発生した嘆願には、対応にさらに時間がかかる場合があります。嘆願書を提出した方は、30 日以内に解決することを期待してください。

18. 連絡先

18.1 SCAJ 事務局

協会ホームページ: <https://scaj.org/>

18.2 競技会事務局

E-mail: competition@scajconference.jp

TEL: 03-6555-8791